

小型モジュール炉(SMR)の可能性と BWRX-300 の導入状況

～日立 GE ベルノバニュークリアエナジーの取組み～

－講師－ 日立 GE ベルノバニュークリアエナジー株式会社

原子力国際技術本部 本部長 森脇 正直 氏

日 時 2025 年 1 1 月 2 8 日 (金) 午後 4 時～ 6 時
受講方法 会場受講／ライブ配信／アーカイブ配信(2 週間、何度でもご視聴可)
会 場 SSK セミナールーム 東京都港区西新橋2-6-2 ザイマックス西新橋ビル4F

〔重点講義内容〕

急拡大する電力需要、脱炭素社会の実現、エネルギー安全保障という観点から、安定的な脱炭素電源として SMR (Small Modular Reactor) が新たな選択肢として注目されている。

カナダ・オンタリオ州では、西側諸国で初めてとなる SMR として、GE Vernova Hitachi Nuclear Energy (GVH) が推進する BWRX-300 の建設が、Ontario Power Generation (OPG) 社のダーリントンサイトで開始された。

本セミナーでは、BWRX-300 の技術的な特徴や導入状況について紹介すると共に、SMR が持つ可能性と直面する課題を整理し、BWRX-300 がそれらの課題にどのように対応しようとしているのかについても解説する。

1. 日立 GE ベルノバニュークリアエナジー社の紹介
2. SMR の可能性
3. SMR の課題
4. BWRX-300 の技術概要
5. OPG プロジェクトを含めた BWRX-300 導入状況
6. まとめ
7. 質疑応答／名刺交換

PROFILE 森脇 正直 (もりわき まさなお) 氏

1990 年 日立製作所エネルギー研究所入社。炉心・燃料設計、解析手法開発に従事したのち、2002 年同社原子力事業部の海外プロジェクト部門に異動。以後、一貫して原子力海外プロジェクトに従事。1995-95 年 カリフォルニア大学バークレイ校客員研究員、2005-2007 年 IAEA 勤務、2015-2017 年 GEH (現 GVH) 駐在等の海外経験有。2021 年から現職。
名古屋大学工学部原子核工学にて工学博士取得。

